

日本サクラソウの栽培用土について

河野 清人・石田源次郎

当園では開園以来日本サクラソウの品種収集に力を注いでおり、昭和55年からは毎年サクラソウ展を開催している。このため現在では、栽培鉢数が約700鉢に達し、毎年芽分け、植え替えに要する培養土の確保は重要な課題である。

サクラソウの培養土としては、一般に田土あるいは畑土、荒木田土などを主体にしたものが紹介されているが、今日田土などを多量に入手することは大変困難である。今後サクラソウを栽培するにあたっては、田土などに代わり、入手が容易な用土の開発が必要と思われる。

材料及び方法

今回比較に使用した用土は、田土、真砂土、赤玉土（径5～10mm）、日向土（径5～10mm）及び富士砂（径5～10mm）の5種類である。田土は広島市西区井ノ口町、真砂土は当園内のものを、赤玉土、日向土及び富士砂は市販のものを使用し、各用土に腐葉土を等量（容積比）混合し、培養土とした。

栽培に供したサクラソウは、野生種及び園芸品種2種（京鹿の子及び大関）である。

昭和56年2月23日に5号駄温鉢に4芽（開花見込み株）ずつを植え付けた。各区5鉢とした。生育期間中の灌水は、田土区を基準に行い、施

肥はハイポネックス、住友液肥及び有機質混合肥料を施用した。5～7月に月1回の各区とも等量の増し土を行った。遮光を7月13日から11月1日までダイオネット（#600）1枚で行った。

芽は、昭和57年1月9日に鉢から掘り出し測定を行った。

花芽および葉芽の判定には芽の横径を用いた。野生種における花芽は、実体顕微鏡による観察の結果、横径が4.0mm以上のものに限られ、それ以下ではすべて葉芽であったので、横径4.0mm以上のものを花芽、3.9mm以下のものを葉芽として区分した。なお、花芽観察時の花芽原基は、雌ずい形成期であった。

結果と考察

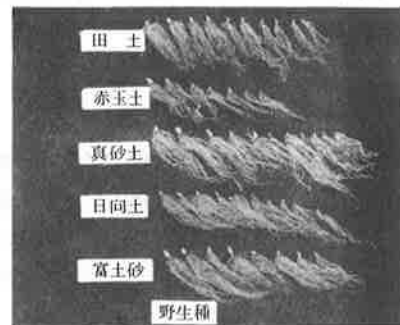
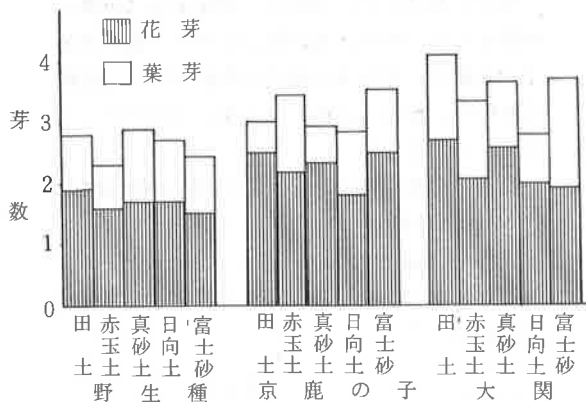
結果は表及び図のとおりである。田土区が、野生種及び園芸種2種のそれぞれの花芽数38、49及び54芽で他の区よりやや多かった。次いで真砂土区が花芽数33、46及び51芽で多く、他の用土に比べ良好であった。赤玉土区及び日向土区では、花芽数が少ない結果となった。富士砂区では花芽が野生種及び大関で、それぞれ30、38芽でもっとも少なかったが、京鹿の子では田土区と同じ49芽であり、花芽の横径も6.0mmではほぼ同様の大きさであった。芽の増殖については今回用いた用土間では、特別な傾向が見られなかった。

このたびの試験栽培では、灌水及び施肥管理は田土区を基準として行ったので、用土によっては水不足あるいは肥料不足であったかと思わ

第1表 各種用土におけるサクラソウの芽の増殖状況

品 種	用 土	芽 数 ※		計	花芽の平均横径
		花 芽	葉 芽		
野 生 種	田 土	38芽	18芽	56芽	5.3 mm
	赤 玉 土	32	14	46	5.4
	真 砂 土	33	24	57	5.0
	日 向 土	33	20	53	5.0
	富 士 砂	30	18	48	5.7
京鹿の子	田 土	49	11	60	5.9
	赤 玉 土	44	24	68	5.2
	真 砂 土	46	12	58	6.0
	日 向 土	36	20	56	5.6
	富 士 砂	49	21	70	6.0
大 関	田 土	54	27	81	5.0
	赤 玉 土	42	23	65	5.1
	真 砂 土	51	21	72	5.1
	日 向 土	39	17	56	4.9
	富 士 砂	38	36	74	4.9

※ 植え付け各区 20芽



各用土1鉢の芽の状態(野生種)

第1図 1芽からの増殖芽数

れ、そのため全般的に田土区より他の用土区が劣った結果となって現われたと考えることができる。この点を考慮すれば、今回試験した用土は栽培管理次第ではどれも使用可能とみなすことができるが、なかでも広島地方で産し、入手

も容易である真砂土が田土に代わる用土として有望と思われる。今後は、この真砂土にあった灌水、施肥管理法を確立することが必要と考える。

園内気象記録 (昭和55年1月1日~12月31日)

項目 月別	気 温		湿 度		降 水 量
	平均最低気温	平均最高気温	平均最低湿度	平均最高湿度	
1月	1.2℃	7.2℃	43.6%	93.3%	36.5mm
2月	0.0	7.9	46.7	90.7	81.0
3月	3.6	11.6	45.9	93.3	107.5
4月	7.5	16.3	46.8	86.8	122.0
5月	(13.1)	(22.3)	48.9	90.7	275.0
6月	(19.1)	(25.2)	63.3	93.9	145.0
7月	(21.3)	(26.8)	72.5	94.2	408.5
8月	(22.3)	(27.2)	72.6	93.1	426.5
9月	(18.5)	(25.9)	51.6	91.2	79.5
10月	12.1	21.1	55.7	92.3	99.0
11月	7.8	15.7	50.5	92.0	80.5
12月	1.3	7.0	48.1	92.8	33.0
合 計					1893.5

最低温度記録日 12月28日 -4.0℃
 最高温度記録日 7月21日 (31.4℃)

()内は広島地方気象台発表のものを使用

観測は、本園植物課事務所横に設置した自記温度湿度計(二段記入型、バイメタル、毛髪式、太田計器製作所製)および自記雨量計(隔測顛倒ます型、太田計器製作所製)により行ったものである。(高山 信明 記)